

## 1. これまでの経緯

- ・第4次札幌市みどりの基本計画策定後、令和2年度より検討を開始
- ・検討にあたり緑の審議会の他、有識者や都心のまちづくりの専門家からなる検討委員会を設置
- ・過去3年間は様々なテーマに沿って審議し、方針案のとりまとめを実施
- ・令和5年度はパブリックコメントを実施した後、方針を策定する予定

年度	緑の審議会	検討委員会	その他
R2	第88回(10/29) ⇒方針策定作業開始の報告	第1回(11/30)みどりの現状 第2回(1/28)公共緑地 第3回(3/26)民有地緑化	
R3	第90回(5/13) ⇒現状・課題・基本目標等の報告 第91回(3/23) ⇒中間とりまとめの報告	第4回(7/28)大通公園ほか 第5回(11/18)大通公園ほか 第6回(2/17)中間とりまとめ案	
R4	第92回(8/30) ⇒検討状況の報告	第7回(7/25)中間とりまとめ修正案 第8回(11/7)方針案とりまとめ	オープンハウス (9/11、9/12)

※オープンハウスとは、取組の説明を行う際の手法のひとつ。実施者は説明パネルを展示し、参加者は自由に閲覧。現地の担当者との質疑応答も可能。

## 2. 中間とりまとめに対するご意見及びそれを踏まえた対応

### ○民間による緑化推進

- 【ご意見】・開発のスピード感により、強弱をつけた取組になると良い
- ・個別の再開発事業が参考にできるよう具体的な緑化イメージを明示すると良い
  - ・民間開発との連携は、都市計画や景観と能動的に進めると良い
  - ・メンテナンスの支援策が盛り込まれると良い

- 【対応】▶ 民間開発等による敷地内のみどりづくりの推進を基本方針のひとつに位置付けた(P16)
- ▶ 重点エリアで取組みたい緑化をイメージパスで示した(P22~26)ほか、引き続き緑化の効果や事例などをわかりやすく伝えることを検討する(参考:P16)
  - ▶ 緑化活動に必要な技能を習得した人材を育成するとともに、人と活動の場とを結び仕組みづくりにより、メンテナンス負担軽減の取組を位置付けた(P17)



### ○みどりのネットワーク形成

- 【ご意見】・野生生物の侵入経路となる可能性も念頭に置きながら、ネットワークをつなぐ箇所、対策（緩衝帯を設ける等）を検討すべき

- 【対応】▶ みどりのネットワークのイメージが伝わる表現とするよう修正(P14)



### ○表現方法

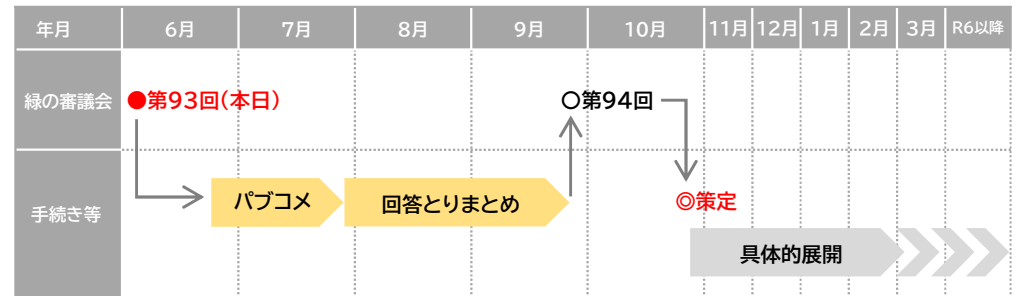
- 【ご意見】・読む人にわかりやすい表現で簡潔に示すと良い

- 【対応】▶ イメージパスや写真の掲載を増やし、簡潔な文章に修正。特に3章以降ではパスを多く掲載し、わかりやすい構成とした。(P13~)

## 3. 方針案

- ・別紙資料の通りとりまとめ

## 4. 策定スケジュール



## 5. 策定後の展開

- ・主要事業のうち、札幌駅周辺や東4丁目通などでは事業化に合わせ具体化に向けた検討が進んでいる。このほか、大通公園・中島公園周辺でもまちづくりが活発化しているため、これらの公園についても取組に着手したい。

### ○大通公園と中島公園について

#### 公園の現状

#### 大通公園

- ・再整備から約30年が経過し、老朽化施設への対応が必要
- ・社会情勢の変化(中央区の人口増、保育施設増、イベント利用と日常利用の両立 等)

#### 中島公園

- ・中島公園駅周辺まちづくり基本構想の策定、新MICE施設整備の検討
- ・社会情勢の変化(国内外の利用者への対応、公園運営での民間資本の活用 等)

#### まちの現状

- ・都心部では公共地・民有地ともにまちづくりが活発化しており、計画的・戦略的な土地利用の推進、都市機能の向上に向けた取組が必要
- ・新たな都心の魅力と活力を育んでいくため、公園等の地域資源を活かした街並みの形成が必要



2014年の大通公園周辺ではまちづくりが活発化している



第119回札幌市都市計画審議会資料抜粋 大通西4南再開発事業整備イメージ

まちづくりの更新気運が高い機会を捉えて公園の在り方を検討することで、より一層の魅力向上が見込める

検討にあたっては、市民意見の聴取、有識者による議論を行うほか、緑の審議会への報告・審議を通して、大通公園・中島公園の在り方をとりまとめたい。